

2018. AUGUST

広報 JAだてし

関内地区一文字祐一さんの麦刈り



NO.610

発行 伊達市農業協同組合（営農生産部編集）

〒052-8666 伊達市末永町 74 Tel.0142-23-2181

E-mail kouhou@ja-dateshi.or.jp

<http://www.ja-dateshi.or.jp>

JA 伊達市

検索



Japan Agricultural cooperatives

主な内容

国際農業機械展 in 帯広～4年に1度の大規模農業機械展が開催～

小麦刈取り

年金友の会 パークゴルフ組合長杯

マルチコプター（ドローン）実演会 その他

8月号

国際農業機械展 in 帯広

～4年に1度の大規模農業機械展が開催！～

今月号のトピックス

7月12日(休)に伊達市農協青年部(坂元博行部長)は夏季視察研修を実施しました。

長雨の影響で市内の農作業が遅延する中、参加した部員は大規模な農業機械を目の当たりにし、国営緊急基盤整備事業による地域農業のあり方や急速に進むICT技術などの機械化、労働力の軽減に向けて最新技術の導入に向けたきっかけが出来ました。

参加した伊達市農協青年部副部長の広瀬将大さんは「農業人口の減少が急速化し個人当たりの耕地面積が増加している。人手がない中で作業効率を上げる方法として最新機械の導入も視野に入れていかなくてはならないと感じる。非常に良い経験となった。」と地域農業のあり方や営農をすることに對し若手担い手の将来へ向けた視察研修となりました。

7月14日(土)には農産課関連各団体の合同夏季研修を実施し、同じく国際農業機械展を視察しました。会場では出展企業・団体が134社あり、広い会場をじっくりと見ることができ、今後の機械更新や規模拡大に向けて最新技術を見ることが出来ました。



小麦刈取り

管内の秋まき小麦の刈り取り作業が7月下旬より始まり、麦乾燥施設でも7月30日(月)から乾燥調製の受け入れが始まりました。

今年度が3年目となる品種「うるち」の作付面積は144haでパンや中華麺に適した品種です。

今期、倒伏は目立たなかったものの、品質に関しては例年並みでした。7月の長雨の影響で適期防除が行えず赤カビ等が若干発生、後半の天候回復で刈取り時期が重複し、乾燥調製施設では予約がとりにくい状況です。

小麦の刈取りは8月上旬には概ね終了し、乾燥調製され出荷されます。小麦の食糧自給率は約14%で多くはアメリカ・カナダからの輸入に頼っています。1人当たりの小麦粉の年間消費量は約32kgで小麦粉の消費量が全国的にも増えていきます。



第5号

各課紹介

購買部 農機燃料自動車課

- 課長 長谷川順詞 (下段左から3人目)
- 考査役 水谷 八吉 (下段左)
- 燃料係
- 主査 古家 紀子 (上段左から7人目)
- 係 佐々木要司 (下段左から5人目)
- // 岡本 勝 (下段左から6人目)
- 臨時 柴口 勲
- // 阿部あゆみ (上段左から6人目)
- 車輛係
- 主査 市川 雄大 (上段左から2人目)
- // 山本 安孝 (中段左)
- 係 稀玉 祥太 (下段左から2人目)
- 臨時 伊藤 靖夫 (上段左から3人目)
- // 三浦 肇 (上段左)
- 農機整備係
- 係長 佐藤 秀幸 (下段左から4人目)
- 主査 杉田 昌史 (中段左から2人目)
- 嘱託 小岡 輝明 (上段左から4人目)
- // 渡辺 利幸 (上段左から5人目)



コメント (長谷川課長)

農機燃料自動車課では自動車、農業機械等の維持管理に係わることをすべてにおいて、組合員の皆さまや地域の皆さまのサポートをしていくよう頑張っております。

広報担当より

農業機械、自動車、燃料に関するご相談等ございましたら農機燃料自動車課へ!組合員の皆さまや地域の皆さまに快適で安全なドライブ、農作業ができる環境をサポート・アドバイスしてまいります。

次号は営農生産部農産課を紹介いたします。



年金友の会

パークゴルフ

組合長杯

7月7日(土)伊達市B&G海洋センターパークゴルフ場にて平成30年度JA伊達市年金友の会パークゴルフ組合長杯が開催されました。当日はさわやかな青空が広がる中、約20名の参加した方々が楽しくプレーしました。

また、結果は以下の通りとなっております。

○パークゴルフ

男性の部

- 1位 篠原 裕治 2位 河野 達男
- 3位 北藤 孝通 4位 伊藤 文夫
- 5位 佐藤 繁

女性の部

- 1位 北藤 洋子 2位 長谷川貞子
- 3位 荒 厚子
- 4位 篠原ミヤ子
- 5位 伊藤 喜枝

ブリーチ賞

- 男性 紺野 幸男
- 女性 高野ヒサ子



マルチコプター

(ドローン) 実演会



7月11日(水)市内水稲作付圃場にて、現在実用化に向け法整備、機器登録などが取り進められているマルチコプター(ドローン)の実演会を実施しました。

農業用マルチコプター(ドローン)は、農薬散布の効率化などを目的とし、低空飛行による薬剤のドリフトを最小限に軽減します。

近年、長雨や台風などの影響が北海道にも多くみられ、適期防除が難しいこともありま

す。小型ヘリコプターやドローン等による農薬散布が今後の地域農業の発展に繋がることを期待しています。



日胆管内JA野球大会開催

7月14日(土)厚真町かしわ公園野球場にて管内のJA野球部4チームが参加し第59回全道JA野球大会胆振地区予選が開催されました。

JA伊達市は部員10名が出場しました。1試合目ホクレン苫小牧と対戦し、1回表にホクレン苫小牧の猛攻で2点の先制を許し、3回表にも更なる猛攻とエラーなどが重なり6点を追加され5回9奪三振の好投もむなしく、0対8で敗戦しました。

過去には地区大会19連覇を誇ったJA伊達市野球部の復活を目指します。



活と優勝旗の奪還を目指して頑張ります。



営農情報

伊達市では100種類を超える品目の栽培を行っており、この夏は収穫が多くなっています。

その中でピックアップしたものを紹介します。

有珠地区のメロンは収穫のピークを終え、夏休みやお盆などこのシーズンに向けて出荷されています。

ジャガイモは上長和特選馬鈴薯や生食用と加工用など様々な用途に使用され、品質の良いものが出来ています。

キャベツは作付面積も大きく伊達の主力野菜の



1つです。身の締まったキャベツは生食用と加工用が全国へ出荷されています。

トマトは一般栽培と、ブランド化へ向けた取り組みを行っている高糖度トマトがあり、高糖度トマトの生産者は10件程度ですが高品質と甘さが魅力のトマトです。ぜひ食べてみてください！

農と食の
総合雑誌

地上

GOOD EARTH

お申し込みはJAへ

定価(税込み) / 普通月号……606円
付録付号(5・11月号)……668円

JAの家庭雑誌

お申し込み受付中

あなたの元気が
わたしの元気

家の光

●普通月号
税込 **617**円

●付録月号
(1・4・5・7・9月号)
税込 **906**円

●付録月号
(家計簿付12月号)
税込 **1,008**円

J Aグループ通信

J Aグループの連合会・中央会の活動内容を紹介し
ます。J A北海道大会決議事項の実績やその時々のト
ピックスなど、組合員の皆様に定期的にお伝えします。
各団体の詳しい取り組み内容はWEBサイトをご覧
ください。

J A北海道 中央会



7月2日、平成31年度農業
関係予算概算要求に向けた農
林水産省との意見交換会を
4〜5月にかけて各地区から
寄せられた現場の意見を踏ま
え、6月の各作目別対策委員
会等で決定した、J Aグルー
プ北海道の政策提案に基づき
行いました。



代表者ら143名が参加し
農協組織基盤、基本農政、水田
畑作青果、酪農畜産の各対策
について要望内容を農林水産
省に伝え、意見交換を行いま
した。
今後も持続可能な北海道農
業確立に向けて、生産現場の
意見をしっかりと国等に伝えて
参ります。

J A北海道 信連



J Aバンク北海道は、特殊
詐欺被害が多発している現状
を踏まえ、北海道警察と連携
し被害防止への取り組みを実

施していま
す。6月に
実施した
「年金感謝
ウィーク」
では、J A
で年金をお
受け取りされて
いるお客様が
来店した際、特
殊詐欺に関する
注意喚起の標語
を印刷した「招
福よっかん」を
お渡ししま
した。



また、ラジオ番組では電話
でお金を要求された際に家族
や警察に相談することを幅広
く呼び掛けています。

ホクレン



ホクレン
のオリシナ
ルブランド
玉ねぎ「環
（※めぐ
る）」と「真
白（※まし
ろ）」の売り上げの部が活動
に役立てられているコープ
さつぽろの事業「第11回コープ



の森植樹祭」が、今年も5月か
ら6月にかけて全道11カ所
で開催されました。
環と真白1パック購入こと
に1円を「コープ未来（※あし
た）の森つくり基金」に協賛し
ており、2017年度は、約63
万円の実績となりました。

J A共済連 北海道



J A共済連では、7月8日
に札幌ドームで開催された
「北ガスグループ6時間リ
レーマラソン」に有志34名が参
加しました。他の企業も多数
参加しており、J A共済連で
は「ひと・いえ・くるまの総
合保障」を掲げ、職員が揃いの
Tシャツを着て「生懸命走るこ
とで、J A共
済を大きく
PRしまし
た。
今後この
ような活
動を通して
多くの皆さ



んに「J A共済」を知っていた
だくよう活動していきます。

J A北海道 厚生連



組合員ならびに地域住民の
皆様の生命と健康を守るため
本会事業の積極的な啓蒙推
進を図ることを目的として、広
報誌「すまいる」を発行して
おります。

年3回発行しており、様々
な医療・健康情報を発信して
おります。

ホームページにもバックナ
ンバーを掲載しておりますの
で、是非「一読ください」。



理事会のうごき

第20回理事会…平成30年7月25日(水)

- ▶ JA伊達市特別条件緩和措置組合員への新規貸付について
- ▶ 第1・四半期自己監査結果について
- ▶ JA全国監査機構一般監査の報告について
- ▶ JA伊達市新規就農研修生受入指導料支給要綱の一部改定について
- ▶ 農協改革に伴う組合員説明会開催について
- ▶ 増資計画について
- ▶ コンプライアンス規程の一部改定について
- ▶ 70周年記念事業について



グリーンセンターよりお知らせ

日頃より資材店舗のご利用誠にありがとうございます。

肥料早期予約取りまとめについて

今年度の肥料早期予約とりまとめについて、期日が8月末日までとなっております。肥料の在庫をご確認の上ご注文下さいますようお願いいたします。

営業時間変更について

【組合員並びにお客様へ】

平成30年度第2・四半期購買部門棚卸の為、営業時間を変更させていただきますので、ご理解とご協力よろしくお願い致します。

平成30年8月31日(金)

営業時間：午後1時～午後6時まで

※棚卸業務の為、当日午後1時からの開店とさせていただきます。

また、**平成30年9月1日(土)～平成31年4月30日(火)**までの営業時間を**午前8時半～午後5時**とさせていただきます。

◎JA 伊達市グリーンセンター
(TEL：23-6115 FAX：23-0922)

未来を変える。 みんなで変える。

国営緊急農地再編整備事業 「伊達地区」 Vol.14

～先進地視察で中富良野町 ・妹背牛町を訪問しました～

伊達地区国営緊急農地再編整備事業促進期成会では、7月17日～18日に先進地視察研修を行い、国営事業を実施している中富良野町の「富良野盆地地区」と妹背牛町の「妹背牛地区」を視察しました。

富良野盆地地区は、ほ場が0.5ha以下で排水不良等により生産性が低かったものの、区画整理で最大2.6haのほ場を形成したほか、暗渠排水も可能な地下灌漑システムを導入。このシステムにより、排水不良が改善し、主要作物である、たまねぎの収量や品質は格段に良くなったとの説明がありました。

妹背牛地区は、0.3ha～0.5haのほ場が点在していましたが、区画整理で標準区画2.2haのほ場を形成。また、富良野盆地地区と同様の地下灌漑システムを導入したことで、約3分の1の農家が水稻の直播栽培に取り組んでいるとのことでした。



妹背牛地区の整備後の水田。地下灌漑システムを整備したことで、2.2haのほ場でも半日で田面まで水を張ることが可能になりました。

◆問い合わせ先

伊達地区国営緊急農地再編整備事業
促進期成会事務局
(伊達市経済環境部農務課農地再編推進室内
TEL0142-23-3331 (内線 539))